

日本共産党船橋議員団

# 三にゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005  
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347  
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>  
 市会議員

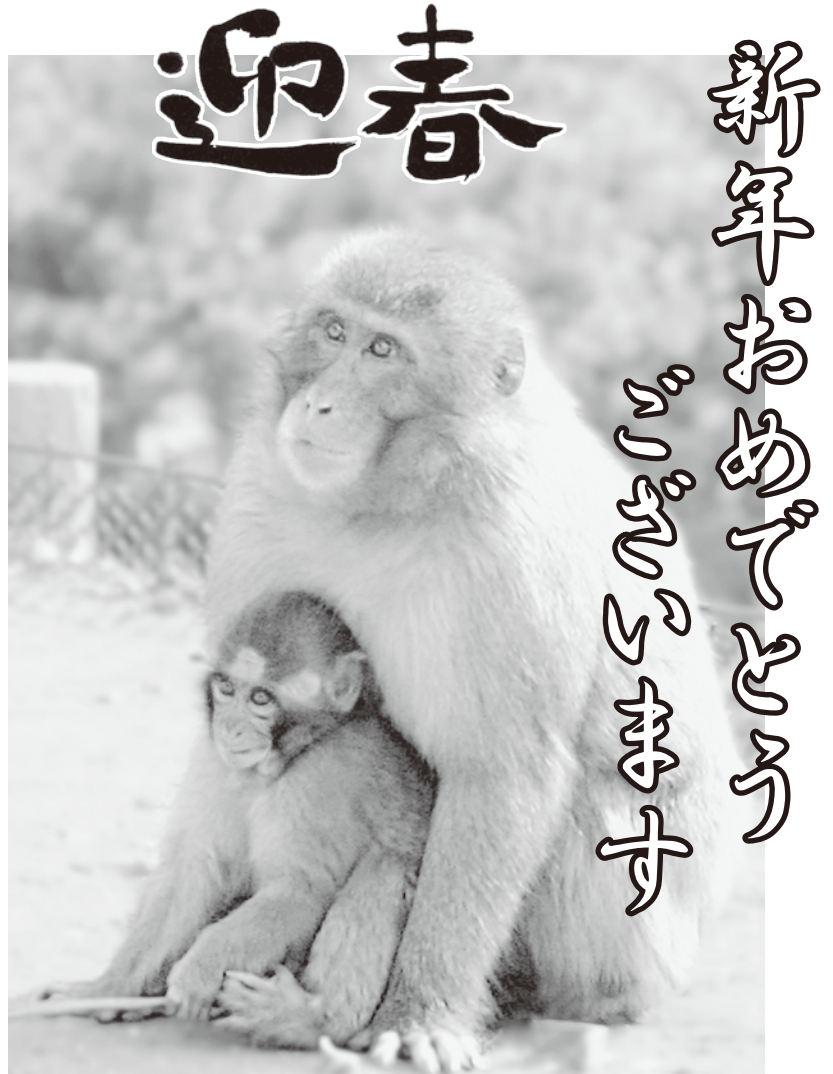
岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
金沢和子 ☎422-5278	中沢 学 ☎493-8140
坂井洋介 ☎404-2039	松崎さち ☎419-8470
佐藤重雄 ☎432-9872	渡辺ゆう子 ☎462-7273



を、ともに大きくひろこうではありませんか。  
 ことしは参議院選挙の年です。きたるべき国政選挙で安倍自公政権に退場の審判を下すとともに、野党共闘の実現・勝利、日本共産党の躍進をめざしてがんばりぬく決意です。本年もどうぞよろしくお願いします。

日本共産党委員長・衆議院議員 志位 和夫

昨年は、立憲主義を破壊して戦争法を強行した安倍政権の暴走に立ち向かう、希望ある動きが、うねりとなってひろがる年になりました。国民が主権者として自覚的・自発的に声を上げ、運動を起こし、共同をひろげる——日本に新しい政治をひらく頼もしい息吹を感じました。このうねりをさらにひろげ、戦争法を廃止し立憲主義を取り戻す「国民連合政府」への流れ



平和とくらしを  
守る声を船橋市から

昨年9月、戦争法が強行されて以降「アベ政治を許さない」の声が全国に広がっています。

平和を壊す憲法違反の立法という立憲主義破壊、国民の声を聞かない反民主主義・反国民主権への怒りです。

「テロとのたたかい」で行ったアメリカによるアフガニスタン戦争やイラク戦争がさらにテロを拡散させてきました。世界では、「テロの脅威」に対し、武力行使では解決できないことがいよいよ鮮明になってきています。今こそ、憲法九条を輝かせ不戦の外交を世界に発信する日本が求められています。

さらに安倍政権は「新3本の矢」などとして大企業には減税し、庶民には消費税増税と雇用破壊や医療・介護・福祉の切り下げを押し付けています。国民の生きづらさを深刻化させる「アベ政治を許さない」も切実です。

平和とくらしを守る声を船橋市から。今年も頑張ります。

# 力を合わせてがんばります

## 政治の転換の

### 年にします!



衆議院議員

斉藤 和子



党副委員長

参院比例予定候補

椎葉 かずゆき



党女性委員会責任者

参院選挙区予定候補

浅野 ふみ子



県議会議員 丸山 慎一



命が大切にされ、個人が尊重され、平和の中で文化的な生活を送ることができる—私たちが主権者国民が憲法に掲げたこの理想を現実のものとするために、大事な一年が始まりました。時代を切り開くために全力!

市議会議員 岩井 友子

船橋でも保育士や介護士不足が深刻だ。原因は低賃金にあるのに改善されない。国の「保育や介護は低賃金でよし」の思考がみえる。賃金格差が大きい日本の男女平等は世界で101位。労働者全体の賃金の重石だ。



市議会議員 金沢 和子

私が勝手に恩人と呼ぶ人と、30年ぶりにネットで再会。彼は、SEALDsに希望をもらった、そして、自分にできることを始めた。うれしかったです。私も、自分にできることを精一杯やってみようと思います。



市議会議員 坂井 洋介

戦争法、TPP、マインバー、いずれも私達の生活に直接入り込んでくる問題。とりわけ、憲法を守らない安倍政権のやり方は日本の法治国家としての在り方が問われています。命を守る政治に全力で取り組みます!



市議会議員 佐藤 重雄

安倍政権は、5月に「南スーダン」に派遣している自衛隊員の交代にあわせて、武器の強化と、衛生隊員が医療行為をできるように検討すると言います。「負傷」に備えるなど、危険なことに手を出す宣言です。



市議会議員 関根 和子

戦闘機の怖さと食べ物無い辛さを今でも思い出す。どの子にもこのような思いをさせてはならないし、戦いで命を奪い奪われる事があってはならない。「戦争法廃止・憲法9条守れ」と今年も皆様と力合わせます。



市議会議員 中沢 学

昨年は「アベ政治を許さない」が流行語大賞に入賞しました。これほど旗幟鮮明な入賞語は過去になかったのではないのでしょうか。「二強」の足下で地殻変動が進んでいます。国民の切実な思いを現実のものにする年に!



市議会議員 松崎 さち

障がい者、一人暮らしの認知症高齢者、子ども達や女性など、立場の弱い人々が政治の犠牲になっていることを実感する半年でした。日本共産党の躍進で政治を変えることが必要です。参院選も全力でがんばります。



市議会議員 渡辺 ゆう子

「戦争をしない国」は、物心ついたときから当たり前のことで、子どもの私は「迷彩服」もわからず自衛隊を災害救助隊だ...。当たり前の平和のためにしなければならぬこと、改めて胸に刻んで今年も前にすすみたい。

